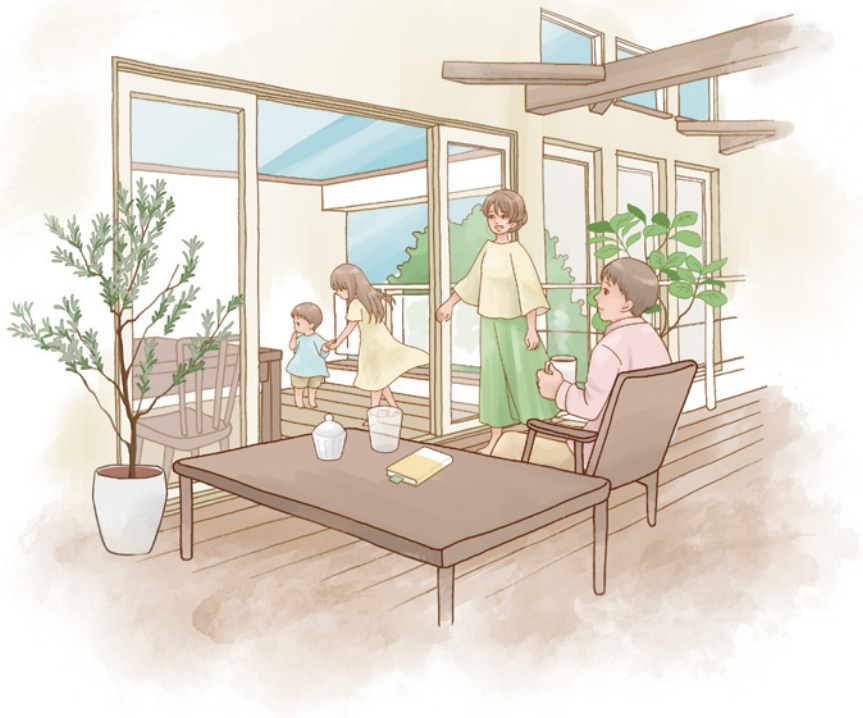


私らしい暮らし

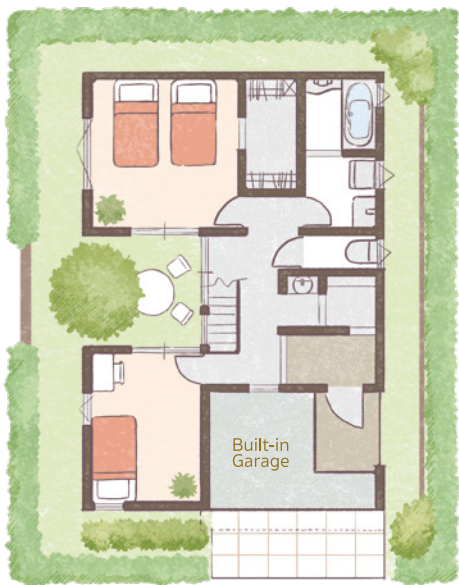
My favorite life

rie



中庭のある家

1F



2F



明るさと開放感、そして自然を楽しむことのできる中庭。

家族の憩いの場や子どもの遊び場として多目的に活用できます。

建物がコの字型に配置されているため、どの居室にも複数の窓を設けることが可能に。家中どこにいてもたくさんの光と清々しい風が届きます。

中庭にはリビング以外にも多くの場所が接しているため、

ホールや階段、寝室などにも光と風がまんべんなく届けられます。

イルミネーションツリーに変身

毎年12月になると家族みんなでクリスマスの飾り付けをするのが恒例行事です。玄関のリースは私の手作り。部屋のオーナメントは子供たち、家を建てたときに「クリスマスツリーにしたいね」と庭に植えたモミの木のイルミネーションは主人の担当です。去年は白と青の幻想的な光で素敵でしたが、「今年はもっと華やかであたたかみのある光にする」とすこく張り切って飾り付けてくれました。そしていよいよ点灯式。大きなモミの木がシャンパンゴールドに輝く様子は室内のクリスマスツリーでは味わえない迫力です。子供たちは大喜びでリズムカルに点滅する光をずっと眺めていました。ご近所の方にも「きれいですね」と声を掛けられ主人もとても満足気です。クリスマスはおいしい料理をたくさん作って、庭のイルミネーションツリーを眺めながら楽しく過ごす予定です。



家庭菜園で子供に食育

アパート暮らしの時にはベランダにプランターを並べる程度だったのですが、庭ができてからは花だけでなく、ナスやピーマン、ミニトマトなどのちょっとした家庭菜園をはじめました。ハーブはパスタやオムレツなどいろいろな料理に使えて楽しいので10種類以上育てています。家庭菜園は食育になると聞いたので、来年小学校に入学する息子と一緒に育てています。はじめはあまり興味がないようでしたが、植物が成長していく様子が面白くなってきたようで毎日お手伝いをしてくれるようになりました。実がなった時にはすごく感動して、世話をした野菜が食卓に並ぶと目をキラキラさせながら「これは僕が育てたトマトだよ」って自慢しながら残さず食べています。趣味ではじめた家庭菜園ですが、子供の野菜嫌いがなくなっただけでなく食べ物の大切さも学べたようです。



ニ 休日のお気に入りの場所 ニ

天気がいい休日はルーフバルコニーで夫とランチをするのが定番になっています。青空の下で食べるご飯は家にいながらにしてちょっとしたアウトドア気分が楽しめるんです。木製のテーブルと椅子を並べて、夏はパラソルを立てるとさらにいい雰囲気。ルーフバルコニーはLDKとつながっているので作った料理をすぐに運んでくれてすごく効率的です。外からの視線が遮られているのでまわりを気にせずゆったりできるのも嬉しいですね。食事の後は、リビングで本を読んで寛いだり、外で自然を感じながらお茶をしたり長い時間過ごしています。夜はライトアップされた中庭を眺めながら一緒にお酒を飲んでいるとテレビドラマや映画のワンシーンのようなちょっとセブな気分。今度は友人を呼んでホームパーティもいいかんと思っています。



✨ 中庭でミニキャンプを楽しんでいます 🏕️

なかなか出かけられない中、子どもたちの楽しみといえばおうちキャンプ。休みの日になると子どもたちがテントやテーブルを出してきてキャンプの準備を始めるんです。実は主人も私もインドア派なので、初めのうちはネットや動画を見て悪戦苦闘しながらテントを張ったりしていたのですが、今では子どもたちに教えられることの方が多いくらいです。キャンプご飯の定番はバーベキューやカレー、ピザやホットサンドと簡単なものが多いです。子どもたちも積極的に料理をしてくれるので、キャンプを通していろいろなことが身についていると思いますし、成長を感じます。家族の会話も増えたような気がします。うちは中庭でキャンプするのですが、3方向が家の壁に囲まれているので、安心感があります。寒くなったらリビングでおうちキャンプもいいですね。





ガレージのある家

1F



2F



ビルトインガレージは雨や風などから愛車を守ってくれるうえ、

いたずらや盗難防止などのセキュリティ面においても安心です。

広々としたガレージなので駐車しやすく、メンテナンスをするのにも最適です。

ガレージ横のリビングからは愛車を眺めることができますので、

いつでも身近に感じることができます。

ガレージから玄関まではポーチでつながっているので、

雨に濡れることがないのもメリットの一つです。

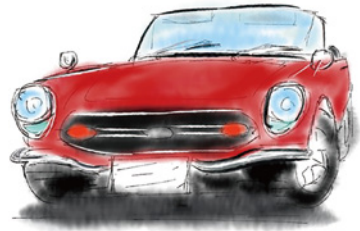
＼ 愛車が身近に感じる ／

「ガレージは屋内に設置して車をリビングから見えるようにしたい」。家を新築するにあたり主人がこだわったポイントです。どうやらテレビや雑誌の自宅紹介で見かけるリビングの窓から愛車を眺める暮らしに憧れを持っていたようです。私も庭にガレージのスペースをつくるならその分建物を広くした方がいいと思っていたので主人の意見に賛成しました。それに、ビルトインガレージは屋外駐車よりも安心ですし、車が汚れないことで毎週のように洗車に付き合わされることもなくなるだろうなと(笑)。暮らし始めて気づいたことは、リビングから見える車が室内のインダストリアルな雰囲気と調和してまるでインテリアの一部になったような感じがすることです。主人はというとガレージに取り付けた照明でライトアップされた愛車をソファに座って眺めている時が至福の時間ようです。



『 愛車と過ごす1日 』

車をきれいに維持したいという夫からの強い要望があって車庫はビルトインガレージにしました。愛車はヴィンテージカーで希少なものらしくとても大切にしています。休みの日はガレージに備え付けている道具を出して夢中でメンテナンスをしています。ボンネットを開けたり車の下に潜り込んだりして一生懸命作業をしています。一通り終わると恒例の洗車の時間です。そんなに汚れているようには見えませんが、専用の洗車セットを取り出して細かいところまできれいに磨いています。長い時は1日中ガレージにいることもあって、ご飯を食べるのも忘れるくらい熱中しています。ビルドインガレージは、私にとっては「車の乗り降りの時に雨に濡れなくていいな」と思っていただけのものでしたが、夫にとっては愛車と過ごせる最高の空間で、家のどの部屋よりも居心地のいい場所のようです。



☆ 遊び場 ☆

主人が出かけた後のガレージは小学1年生の息子の遊び場になっています。友達とミニカーで遊んだり、サッカーの練習をしたりしています。どうやら部屋にいるよりもガレージの方がお気に入りのようです。これまでは家の中にずっといるより外で体を動かした方がいいので毎日公園や広場に連れて行っていたのですが、忙しい時は十分に遊ばせることができなくて。新しい家ができてからは雨の日でもガレージを遊び場として使えるので助かります。ビルトインガレージは外からの視界をほとんど遮ってくれますし、なにより子供が目の届くところにいる安心感があります。

ガレージには季節ごとにいろいろな使い方があって、たとえば夏はビニールプールで水浴びをしたり、レジャーシートを敷いてキャンプごっこをしたりと家族で工夫をしながら楽しんでいます。





雨や雪の日の買い物に便利です

ビルトインガレージの家はもともと主人が希望していました。家を建てる前までは車好きな人のための家だと思っていたのですが、実際に住み始めてみると想像以上に便利な家でした。というのも、ガレージ奥に玄関があるので、車の乗り降りをする時に、雨や雪に濡れることがないからです。また、ガレージにはもう1つドアがあるので、キッチンのすぐ近くなので、重いものやたくさん買い物をした時でも運ぶのがとても楽です。ちょっとしたことなんですけれど、これは本当によかったと実感しています。私は食品や洗剤をまとめて買ったり、業務用を買ったりするので、玄関を通らずにキッチンなどの水回りに直接荷物を運べるのは本当に助かります。それから、ドアは階段とも近いので、2階に物を運ぶ時も便利です。



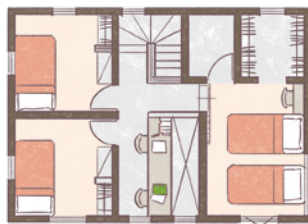


スモールハウス

1F



2F



デザインのコンセプトは「現代和風デザイン」。

純和風とは異なり、モダン、スタイリッシュといった現代の主流を

取り入れたテイストです。スモールハウスは、コンパクトでも

空間が広く感じられる床座をプランコンセプトに採用しました。

床座の場合、ソファなど場所を取る家具が少なく、部屋全体に余白が

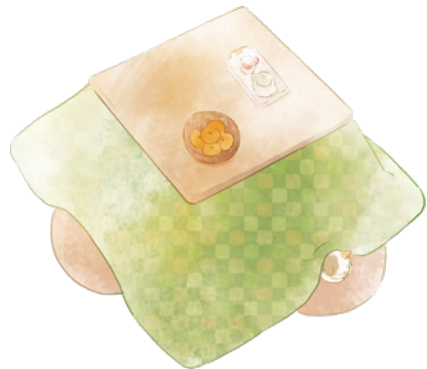
多いため開放的な印象を与えることができます。

また、目線が低くなることからテーブルや棚などの家具が

ロータイプになり、空間をより広く演出します。

* 季節ごとに雰囲気が変わるリビング

和の小物や雰囲気が好きなので、住まいにも和を取り入れたいと思っています。リビングは床座なので、夏は床に草のラグを敷いて子どもと一緒にお昼寝をしたり、冬になるとこたつを出して家族でテレビを見たりしながらのんびりと過ごしています。いい香りのする草の上で大きく手足を広げるのも気持ちいいですし、こたつを囲んでお鍋をしたり、ゲームをしたりするのも楽しいんです。床座は季節の小物やインテリアでお部屋の印象がガラッと変わるのでとても気に入っています。孫の顔を見に来る両親にも床座のリビングは好評で、子どもたちと一緒に遊んだりくつろいだりしてくれています。近いうちに模様替えをする予定なのですが、今度はおしゃれな琉球畳を敷いてみようと思っています。どんなお部屋になるか今からとても楽しみです。



「ミニマムな暮らしがかなう家」

新築を機に、これまであったたくさんの物を断捨離。新しい家に合わせてシンプルな家具や収納小物を揃えて、そこに本当に必要な物だけを入れるように心がけています。もともとコンパクトな家なので、なるべく床に物を置かないようにしてスッキリと見せています。ダイニングテーブルのかわりとして、ちゃぶ台のような移動ができる丸テーブルを選んだのですが、リビングの雰囲気とすごく合っているので気に入っています。また、大きすぎる家だと掃除などにも手間がかかってしまいましたが、家族に合ったちょうどいい大きさなので、家事にかかる時間も少なく済みます。今は夫婦2人だけということもあって、空いた時間で一緒に趣味を楽しんだりしています。この先、子どもが産まれたら生活も変わると思いますが、無理せず自分たちらしい暮らしを楽しんでいけたらいいなと思っています。



◇みんながくつろげる空間◇

リビングというとソファをイメージしますが、私は床に座っている方が落ち着くので新しい家では床座の生活スタイルにしました。小さいころから床座の家で暮らしてきたのでその影響もあるかもしれません。くつろげる以外にも床座というのは良いところがたくさんあるんです。リビングのテーブルで食事をするのでダイニングセットを置く必要がなく部屋が広く使えるし、移動もカンタンなので掃除をするのも楽ちんです。それにテーブルは円形なので人数が多くてもテーブルを囲んで食事ができて便利です。先日両親が来た時みんなで手巻き寿司パーティーをしました。テーブルのまわりを自由に使えるのは床座ならではのメリットです。子どもたちはお腹いっぱいと言ってそのまま寝転んでひと休み。私たちも楽な姿勢でくつろげるし、やっぱり床座にして正解でした。



🔪 オリジナルレシピ開発中 🍴

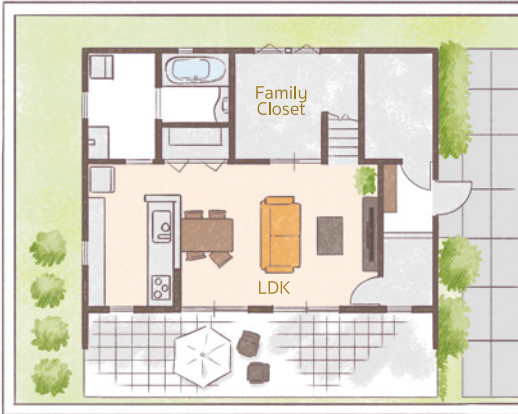
今、料理にはまっています。実はあまり得意ではなかったんですが、キッチンが新しくなったことで料理をするのが楽しくなりました。最近のキッチンは使い勝手が良いので作業が快適です。それに見た目も大切ですね。キッチンのデザインがいいと料理をするテンションが上がるんです。新しいレシピにもチャレンジしたくなったので、家事コーナーにノートパソコンとプリンタを持ち込んでレシピ集を作っています。インターネットのレシピサイトを見て良さそうなレシピをプリントアウト！ファイルに綴じて本棚へ。集めたレシピはもう20冊以上になりました。作った料理を「おいしい」って言って喜んでもらえると増々やる気がでますね。スパイスや調味料にも少し詳しくなったのでこれからは自分なりのアレンジ料理も楽しんでみようと思っています。



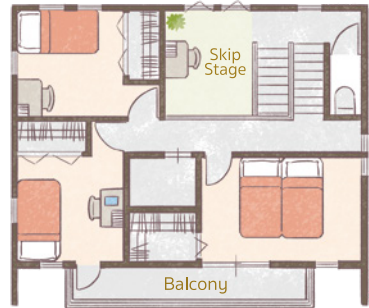


スキップフロアの家

1F



2F



スキップフロアは、1階と2階をつなげる1.5階のようなフロアです。

3層の立体的な空間として家全体に広がりを持たせてくれます。

縦に伸びる間取りのため、視線の抜けがよく、

実際の床面積よりも、広く感じられるのが特徴です。

空間に段差があることでフロアとしての役割が生まれ、

生活の境目を認識しやすくなります。また、立体的に空間を使うことは、

通風や採光面においても高いメリットがあります。

【 快適な仕事場です 】

私は在宅ワークをしているので、スキップフロアを仕事場として使っています。以前住んでいた家では仕事をリビングでしていたのですが、子供がテレビを見ていたり、まわりで遊んでいたりでするので全然作業に集中できませんでした。なので、落ち着いて仕事ができる環境が欲しいなとずっと思っていたんです。スキップフロアは壁に囲まれていないので開放的ですし、適度なリビングとのつながりがあることで子供の様子が確認できて安心です。在宅ワークは仕事とプライベートの区別が難しいと言われていますが、仕事をする場所がリビングと階層が違うのでオンとオフの切り替えがうまくできていると思います。それと、小さなことかもしれませんが、テレビミーティングで使うwebカメラの背景に気を使わなくていいこともよかったですね。



「いろいろな使い方ができて便利」

我が家では、スキップフロアの下の空間を子どもの遊び場や収納として利用しています。小学校に入ったばかりの子と幼稚園の子がいるのですが、2人とも男の子なので秘密基地ができたような感じで大喜び。毎日2人でワイワイ遊んでいます。リビングのすぐ横にあり、目が届きやすいので安心して遊ばせることができます。パパが休みの日は男3人、秘密基地で仲良く作戦会議(?)しています。私はというと子どもと一緒に時々お昼寝したりしています(笑)。結構広めの空間なので、収納にも使えて便利です。子どもたちのおもちゃはもちろん、棚やボックスを活用して書類や本、リネン類など、リビングですぐに使うような物をいろいろ収納しています。おかげでリビング自体はあまり散らかりませんし、引き戸を閉めてしまえば、突然の来客にも慌てることのないので重宝しています。



📖 スキップフロアでリビング学習 📌

2階に子供部屋をつかったのですが、小学生のうちはリビング学習がいいかな
と思いきップフロアを勉強する場所にしています。勉強でわからないところが
あってもすぐに教えてあげられますし、なにより子供の様子が見られるのが安心
ですね。はじめはリビングの一角を学習スペースにとも考えたのですが、
リラックスしすぎたり、テレビを観たりして勉強に身が入らなくなる心配があり
ましたので、ほどよい距離のあるスキップフロアにしました。前の家では学校から
帰ってくるとまっすぐ部屋に行って閉じこ
もっていたのですが、今ではスキップフロア
にいる時間が多いので自然と家族のコミュニ
ケーションが増えました。開放的な環境に
したことで机に向かう習慣が身に付いたよう
です。それに、子供にとっても近くに親が
いると安心して勉強できるみたいです。



家族の楽しい思い出の場所

家族で半年に一度旅行に出かけています。旅先でよさそうなものを見つけては記念に買ってきているのですが、全部置くことはできないし、お土産の小物はリビングのイメージと合わない…と結局、収納ケースにしまっていました。いよいよ数が増えてきたこともあり、どうしようか主人と相談をしたら「スキップフロアを旅行の思い出部屋にしよう！」という提案が。たしかにスキップフロアなら家族だけの空間として使えるのでいいアイデアかも。というわけで早速部屋づくりに取りかかりました。壁に絵を飾ったり、棚に置物を置いたり。ショーケースも作ってアイテムをディスプレイしてみました。ほかの人から見たら部屋全体の雰囲気バラバラに感じてしまうかもしれませんが、旅先の思い出が詰まった空間は家族にとってはとても素敵な場所になりました。



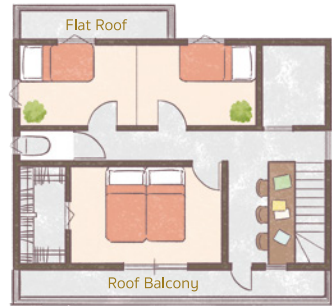


家事収納の家

1F



2F



キッチンやお風呂、洗濯機置き場など是一日に何度も行き来する場所です。

特に、複数の家事を並行して行うことの多い朝は水回りだけでなく、リビングやホールでも家族の動線が重なってしまうことが少なくありません。

無駄な動きを減らすことのできる回遊動線であれば、

毎日の家事を効率よくこなすことができます。

また、洗濯機置き場も独立しているため、

洗う・干す・しまうといった動作をその場で完結できて便利です。

\\ 共働き家庭の強い味方 //

共働きの夫婦です。下の子を保育園に預けることができるようになったので、私もこの春から職場復帰しました。朝ご飯の準備や片付け、お弁当を用意したり子どもを保育園に送って行ったりと、平日の朝は特に慌しくなりがちです。そんなこともあって、私たちは家事がしやすく、収納も多い家を選びました。玄関からキッチン、洗面など、スムーズに行き来できるので、料理をしながら洗濯をしたりと、効率よく家事をすることができます。また、洗面と洗濯室が別なので、朝の忙しい時間帯でも夫や小学生の子どもと動線が重なることがありません。そういったことだけでもかなり時短になるので、ゆとりを持って仕事に行くことができるようになりましたし、自分のことや趣味などにも時間を費やせるようになりました。もちろん、家事や育児に協力的な夫にも感謝です！



イベントにあわせてリビングをデコレーション

毎年ハロウィンやクリスマス前になるとリビングをデコレーションするのが我が家の行事。ホームセンターで小物をいろいろ買い込んで、イベントに使うアイテムを家族みんなで手作りする時間がとっても楽しいんです。はじめは遠目で見ていた主人も「ここにはアロマキャンドルを置こう！」と今では子供より夢中になって作業しています。今年のクリスマスのテーマは北欧風。秋に集めた松ぼっくりと木の枝でリースを作ったり、ツリーは、ユーカリやスパニッシュモスでシンプルに。ナチュラル素材の雑貨はシックな色合いのリビングとの相性がピッタリで、やさしくあたたかな雰囲気になりました。壁に掛けたアドベントカレンダーでクリスマスまでカウントダウン。中に入れたお菓子やおもちゃを毎日ひとつずつあけて子供たちとワクワクしながらクリスマスを待っています。



♡ かわいいうちに大満足! ♡

この家を初めて見た時の感想は「かわいい!」その一言でした。雑貨屋さんのような雰囲気が好きなのは第一印象から「この家がいい!」と決めていたくらいです。どんなアレンジにしようかなと考えたりして、入居前からワクワクが止まりませんでした。私はナチュラル系のインテリアにしたかったので、木目調や白を基調にした家具で統一しました。コットンや麻のファブリックに籐のカゴなど、小物は天然素材にこだわりました。リビングにはお気に入りの雑貨やドライフラワー、多肉植物などを飾って毎日いやされています。いずれは家具などのペイントにも挑戦してみたいと思いますし、手作り小物も飾ってみたいです。小さめのお庭があるのでガーデニングも始めたいです。家を建ててからやりたいことがすごく増えて、毎日とても充実しています。



家族のお気に入りの場所

子どもたちが学校から帰ってきてまず向かうのが2階のファミリーコーナーです。それぞれに子ども部屋もあるのですが、彼らはこの場所がお気に入りのようで、宿題をしたり、ゲームをしたり、思い思いに過ごしています。階段を上がってすぐのところにあるので、リビングから声を掛けやすいですし、子どもたちの様子もわかるので助かっています。子どもたちが寝たあとは主人の仕事場になったり、私が趣味のフラワーアレンジメントをしたりするのに使っています。主人がテレワークで家にいるときは、子どもの勉強をみてあげることもあるようです。私もちょっと一息つきたいときには、お茶を飲みながら本を読んだりするのですが、明るくポカポカと気持ちがいいので、ついうとうとしてしまうことも多いです(笑)。



rie